別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第7回 加東市環境市民会議
開催日時	令和2年10月26日(月) 午後7時から午後9時15分まで
開催場所	加東市役所2階 201会議室
議長の氏名	竹村厚司
出席委員の氏名	竹村厚司 長谷川豊 藤原大輔 井上益子 出井和典 柳隆之 藤井悦雄 森美佳 植田竹吉 衣笠比佐志 井上綾乃 小薮準也 藤井哲夫 丸山正人 丸山健次
欠席委員の氏名	芦谷恒憲 三木達明 藤本真佐己 余部衛 片山剛志 戸田恵造 笠井郁男 中嶋研二
説明のため出席した者の職氏名	(株)総合環境計画 藤田茂伸 寺田みなみ
出席した事務局職員の氏名及びその職名	市民協働部生活環境課 課長 楳本俊也 副課長 藤原義守 同課環境政策係 主事 竹内大樹
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者の重点取組について ・加東市の環境の将来像について ・環境基本計画の推進体制について <p>4 閉会</p> <p>以下議事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者の重点取組について <p>資料「第7回環境市民会議の議事について」「市民・事業者の環境行動方針案(変更後)」「加東市の環境の将来像について」に基づき、事務局から説明のうえ、議事を行った。内容は以下の通り。</p> <p>委員長 本日の議題は、市民、事業者の重点取組について、加東市の環境の将来像について、そして最後に、環境基本計画の推進体制についてということです。それではまず、前回、皆さまに議論していただいた重点取組について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局

それでは、「市民・事業者の重点取組」についてご説明させていただきます。お手元に「課題解決・環境の将来像実現のための重点取組 市民・事業者の環境行動方針（案）」という冊子をご用意ください。

前回の市民会議では、事務局で作成した行動方針の素案についてご説明し、委員の皆様にご意見をいただきましたが、その後、その際にいただいたご意見、ご提案を素案に反映させました。

今回は前回からの変更点についてご説明をさせていただきます。冊子中赤字で記してありますところが前回からの変更箇所になります。1ページ目から順番にご説明させていただきますので、前回の冊子をお持ちの方は見比べながらお聞きください。

まず、タイトルについてですが、「将来像実現のための行動方針」としていたのを、よりわかりやすく「重点取組」に変更しています。1ページ目をご覧ください。分野の構成についてですが、「協働の推進・環境学習分野」が独立していたのを廃止し、他の4分野のすべての取組について、各取組主体の協働をもって推進し、また、取組をすることがすべての主体にとっての環境学習の機会となるように留意するという構成に変更しています。

廃棄物分野についてご説明させていただきます。重点取組4「不要品譲渡会の開催」は、前回は協働の推進・環境学習分野の一つでしたが、廃棄物削減の取組であることから、廃棄物分野に移動しております。重点取組2「食品ロスの削減」のページをご覧ください。実施主体に地域を追加し、地域においては、地域でのイベント時などにフードドライブ受入窓口の設置を検討すること、小売店においては、食品の回収拠点の設置を検討すること、市は食品の回収拠点の増加に向けて取り組むことを追加記載することによって、回収拠点を増やし、フードドライブにより協力しやすくすることとします。また市はフードドライブ、3010運動、ドギーバッグの普及促進や食品ロスの現状の周知を含めて、食品ロスの削減に向けた普及啓発を行うこととします。そのほか、ドギーバッグを「持ち帰り容器」と日本語併記しております。右ページには食品ロス問題の周知の一環として日本の食品ロスの現状を記載し、語句解説とまとめてコラムとしています。

次のページをご覧ください。重点取組3「集団回収の実施促進によるリサイクル推進」に関しては、語尾を修正のうえ、資源回収ボックスの設置促進について記載を追加しております。

次に重点取組4「不要品交換・譲渡会の開催」についてですが、前回は名称を単に「譲渡会」としていましたが、「交換・譲渡会」と変更しています。またリユースを日本語併記にしております。内容手法の市民団体・地域欄ですが、以前は不用品の写真を掲示板に張り付けるなどの具体的実施方法案を記載しておりましたが、多彩な運用ができるように削除をしております。また、環境学習についての書きぶりに若干変更を加えております。

次に地球環境分野についてご説明させていただきます。

重点取組1「気候変動に対する適応の推進」のページをご覧ください。こちらは内容手法の事業者欄の災害発生時の取組として、以前は「対策用物品や、サービスの提供を検討する」と記載しておりましたが、無償提供が基本という誤解を生まないよう、「販売」という語句を加えております。また、市の取組として、これより後のページにも共通しますが、講師を紹介するだけの記載になっていたところに、講師料の補助検討についての記載を追加しております。右ページにはコラムとして気候変動によって予想される影響とその対策についてまとめています。

次に重点取組2「家庭からのCO₂排出削減」についてご説明します。次のページをご覧ください。うちエコ診断をカッコ書きに変更し、「エコハウス設備」を「省エネ機器」に変更、その他文言の整理を行い、わかりやすくしています。また、省エネ機器に加えて、太陽光パネルの導入など再生可能エネルギーの利用についての記載を追加しております。右ページには国の、家庭部門、運輸部門のCO₂排出削減目標を記載し、家庭での排出削減の目安となるようにしております。

次に重点取組3「かとうスマートムーブの推進」についてご説明します。実施主体に一次計画時よりエコドライブの推進に取り組んでいただいていた加東エコ隊を加えております。また、語尾の修正など記載方法の修正を行っております。ハイブリッド車、電気自動車などの記載を「環境性能の良いエコカー」という記載に変更しております。市のかかわりについて、公用車へのエコカー導入の推進について追記しています。また、右ページにスマートムーブについての注釈を記載しております。

次に自然環境分野についてご説明させていただきます。次のページをご覧ください。「自然環境分野における市民・事業者が目指す加東市のすがた」の一つ目について、前回は「山の管理への関心が高いまち」としていましたが、山を里山に変更し、水辺環境を追記しています。重点取組1「里山、山林とのふれあい、保全の推進」については、内容手法の市民の欄について、以前はごみ拾いの記載がありましたが、環境保全活動と記載変更しております。

次のページをご覧ください。重点取組2 水辺環境とのふれあい、保全の推進についても重点取組1と同様の変更として、ごみ拾いの記載変更をしています。また「掻い掘り」という語句の数を減らし、水辺環境の保全の取組の一例としての記載にしております。市のかかわりとしては、取組実施例などを収集し、市民、地域などと共有することとします。

重点取組3「みんなで歩こう環境さんぽ」についてご説明します。

目的内の「教わる」を「学ぶ」に変更しています。環境さんぽをカッコ書きにし、内容手法の地域・市民団体欄に環境さんぽの定義を記載しています。

最後に生活環境分野についてご説明させていただきます。重点取組2「まちなか緑化大作戦」のページをご覧ください。前回はグリーンカーテンの取組とその他の緑化の取組をそれぞれ独立させていましたが、大きく「緑化の取組」としてまとめ、その中の一つの取組としてグリーンカーテンを推進するというように変更しています。二つの取組の記載をまとめたのみで、語句や表現は大きくは変えておりません。まちなか緑化大作戦のなかにグリーンカーテンが加わったことにより、加東エコ隊が取組主体に追加されています。

長くなりましたが、以上が重点取組における、前回からの変更点になります。

委員長 ありがとうございます。事務局より、全分野の変更点について説明がありましたが、何かご意見はありますでしょうか。前回の議論の中で、ここは修正をしたほうがよいとご指摘いただいた部分は、かなり修正されていると考えていますが、いかがでしょうか。他にまだ何か修正点などありましたらお願いします。

委員 「取組」と「取り組み」について、送り仮名がある所、無いところがあります。委員 県の方針では、取組という名詞になった場合は送り仮名がいらす、動詞で取り組むというときは、送り仮名が入るそうです。

委員 重点取組の、食品ロスの削減のフードドライブの写真ですが、これは社会福祉協議会が場所を作って実施しているのですか。

事務局	これは社会福祉協議会なのですが、常設ではなく、福祉まつりで、市と合同で開催した際に、フードドライブの受付窓口として設けたものです。
委員	それでは年に1回ぐらいですか。
事務局	そうです。
委員	他の時期であれば、社会福祉協議会の窓口でということになるのですか。
事務局	そうです。社会福祉協議会の窓口では随時受付をしていますので、いつでも持っていける状態です。
委員	写真があると、この場所に持っていきやすいように見えます。
事務局	この写真は地区等で回収拠点を設置する取組イメージとして掲載しています。委員の皆さまはいかがでしょう。もっとこういう写真を使ったほうがいいのではないかという意見がありましたらお願いします。
委員	それでは、地区のイベント会場にも、市ないし社会福祉協議会の人に来てそういうことをしていただけるということでしょうか。
事務局	そこは協議が必要だと思いますが、この取組の意図としては、市が調整のうえ、地区等で自主的に回収窓口を設置して、地区の人が持ってきやすいようにしていただいて、集まった食品を社会福祉協議会に寄付をするというものになっています。そこに市の職員が行くか、社会福祉協議会の人に行くかという話は、本来の趣旨ではないということです。
委員	分かりました。
委員長	他に何かございますか。
委員	集団回収の実施の促進、重点取組3で気が付いたのですが、例えば公民館とかに小型家電の回収のブースがあったり、天ぷら油の回収を行ったり、そういうことをしていると思います。そういうのもここに含まれると考えていいのでしょうか。一見した感じだと、小学校で先週あった、子どもたちとPTAがしている集団回収というイメージだけが浮かぶのですが、せっかく公民館などでいろいろな回収をしているのであれば、それに含まれるようなイメージがあればいいと思います。
事務局	回収ボックスの記載がありますが、この取組の趣旨としては、布や紙などのPTA単位や学校単位でされている集団回収と同じ回収品目の常設の回収ボックスを、公民館等に置いていただくものになりますので、市の廃食油、小型家電の回収とは別になります。
委員	それでは今回の環境基本計画の中では、重点取組としては、今している小型家電や廃食油の回収を促進しますということは、特に入っていないと考えたらよいですか。
事務局	市民・事業者の重点取組としては入れませんが、引き続きの取組として、市では回収を促進していくということになります。
委員	回収拠点を増やせば回収の量も変わってくると思います。しかし、ここにいらっしゃる委員の皆さまが現状で十分ということであれば、今回の重点取組としては集団回収に特に力を入れていこうという内容でいいのではないかと考えています。
委員長	いかがでしょうか。
委員	今のご意見ですが、私も賛成です。ワークショップの時のイメージでは、市の取組は前提としてあると思っていました。ですから、当然、ここに入れるべきだと思います。
委員長	ということは、具体的には、例えばこの中のどの取組になりますか。
委員	重点取組のところで、集団回収の実施促進によるリサイクル推進のところに入れたらいいと思います。
委員長	具体的に、例えばこのページですと、一番下の、市の関わりですか。
委員	市(行政)の関わりの中にそれを入れたらいいと思います。

委員長	ここの集団回収の実施促進のところに、具体的にもう少し、家電とか廃油などを入れるということですか。
委員	市民中心の取組なので入れないということでしょうが、市は何もしていないという誤解を与えてもいけないと思いますので。
委員	2点お伺いしたいのですが、集団回収というものは、市はどういった形を集団回収と捉えていますか。また、公民館の資源回収ボックスの設置ですが、そこに回収される資源とは何を考えられているのかを教えてくださいたいです。
事務局	奨励金を出している集団回収は回収品目が決まっており、その品目をすべて回収していただくのを集団回収としています。ですので、先ほどの小型家電や廃食油は入っていません。重点取組 3 は集団回収の実施促進によるリサイクル促進ですので、小型家電や廃食油の回収は、別の章に市としての取組として入れるのがいいのではないかと思います。回収ボックスでの回収品目は、集団回収と同様です。
事務局	補足ですが、集団回収といいますが、例えば PTA とか婦人会とかいうイメージがあるのですが、地区が取り組んでおられる所もあります。それを広げていくためには、地区にはそれぞれの公民館がありますので、そこにボックスを設けていただいて、回収量を増やしていただきたいということです。
委員	子ども会、小学校、中学校の集団回収なのですが、資源を回収しているというよりも、活動費を捻出しているという意識のほうが強く、学校と地域の子ども会、わざわざ分けて実施していたような時代もあったのです。ですので、公民館などで地区の資源回収を実施すると、小学校の回収で全然資金が捻出できず、卒業記念の品物が送れないなど、そういったこともあるのです。ですので、どうにかうまい具合に、両方が納得できるような形に持っていけないと思いません。その辺りは少し加味していただきたいと思いません。
委員	各主体の集団回収の実施時期に偏りがあると感じますが、そのあたりの調整はされてないのでしょうか。
事務局	各種団体がされているのは、それぞれの事業計画の中でされていますので、今言われたように、若干近い月があることはあると思います。また、他の活動の合間のようなところに年間行事として組み込まれているので、調整できないということもあると思います。
出井事務局	それをうまい具合に調整することはできませんか。
事務局	各種団体それぞれの集団回収以外のイベントの都合があると思いますので、なかなか調整が難しいのが現状だと思います。
委員	先ほどの資金の話ですが、確かに死活問題も出てくると思います。業者の資源回収も増えていきますし。市が目指している方向と逆に、団体さんが迷惑を受けたり、足を引っ張られたりということが出てしまう場合がありますので、議論しなければいけないと思いません。
委員	まず、各主体の実施実態を把握しなければいけないのではないですか。
委員	それと本当は教育的な効果が目的なわけではないですか。それが資金というお金にすり替わってしまって、本末転倒になってしまっているということもあるかと思いません。
委員	本末転倒ではないと思いません。大人目から見たら、それは資金稼ぎだという本音でも、子どもの立場からすれば違うと思いません。
委員	地域で回収ボックスを設置する、市は促進すると書いてあるのですが、私は滝野ですが、2年ほど前から公民館の向かいに回収ボックスを置いていました。当初は皆さん喜んで活用されたのですが、そのボックスに市が来て回収する頻度が、ほとんど月 1 回ぐらいなのです。皆さん、いつでも出せるものですから、重宝がってどんどん持ってくるのですが、そうすると、回収箱の中に入りきらず、その近所にごみが溢れてしまうわけです。その近くにいる方はごみで困るという苦

情が出るようになりました。公民館などでこういう回収ボックスを常設すると、そういう副産物が出てくるのです。我々の所は結局、今年やめました。そういうことがあるので、もしこれを推進するのであれば、そこからの回収をもっと短期間で行うということも考えておいてもらわないと、何か机上論が出たという気が私はしています。

委員長 ありがとうございます。事務局としては、この部分を考え直すことはできますか。

事務局 各地区に回収資源、回収ボックス等置くことに関する管理の問題などについては当然、問題とされるので、推進するにあたっては検討させていただきます。集団回収の頻度に偏りがあるとのことでしたが、合間に地区としての集団回収を入れていただく余地がありますか。

委員 無いと思います。行政の関わりとしてここは各主体の日程の調整とかという言葉を入れてもらったかどうかと思います。

委員 うちの地区は、ほぼ2カ月に1回ぐらいの頻度で集団回収が実施されています。年度初めに、小学校のPTAや、こども園、中学、子ども会などで日程の調整をいただいている結果で、地区としては助かっています。

うちの息子はほかに出そうということも言うのですが、集団回収に協力してあげようということ、そこは比較的うまくいっているのではないかと思います。地区によってかなり温度差があると思うので、区長さんや学校と相談していただいて、いろいろな地区ができるだけ多くの回収機会を得られるようなことを、まず検討していったらどうかと思います。

委員長 いろいろご意見ありがとうございます。お聞きしていますと、市は、地域の実情を調整してなど、そういったことを入れていただければどうかと思うのですが、また検討していただけますでしょうか。

事務局 実施団体に、こちらから、この期間は集団回収が多いからやめてくれなど、そういうことが言えるのかどうか、即答しかねますので、今日いただいたご意見として、担当と確認して、反映できるところ、反映できないところがあるかと思いますが、それで修正を加えさせていただきます。

委員 団体に対して、市がどうこう言うのは難しいと思います。ですが、実施状況を把握しておいたら、問い合わせなどがあつたときに対応できるということ。また、資源回収ボックスの公民館設置に関しては、義務ではなく、推進という形にとどめておいていただきたいと思います。

委員長 実施促進ですから、必ず置くというような話ではありあませんので、地域に応じて設置を考えるものだと思います。いろいろと修正点が多いですから、また何かお気づきの点があればお願いします。

事務局 連絡先を書いていますので、お電話でもファックスでもメールでもいただければと思います。

委員 不用品の交換・譲渡会の所に、「もったいない」という言葉が使われています。とても良い言葉だと思うので、フードドライブの所にも入れるのは無理でしょうか。

事務局 社会福祉協議会が「もったいない」という言葉が入ったロゴマークを作っていたので、入れるようにします。

委員長 ありがとうございます。それでは、重点取組については、ここで終わらせていただき、またご意見がありましたら、事務局へ連絡をお願いします。

次に、加東市の環境の将来像について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは「加東市の環境の将来像」についてご説明させていただきます。加東市の環境の将来像についてという題の資料の1ページ目をご覧ください。

初めに、前回の市民会議で提示をさせていただいた、事務局案2つを掲載しております。次に今回の会議の日程調整の際に皆さんにお聞きした、将来像の方向性、入れたいキーワードの順に掲載しております。方向性としては、山田錦などの固有名詞を入れる方が良い、入れない方が良い、第2次、第3次産業に焦点を当てるべきなどのご意見をいただいております。キーワードに関してもたくさんの候補をいただいております。ページをもう一枚めくっていただきますと、将来像案を掲載しております。こちらも委員の皆様にいただいたものです。先ほどのキーワードが入ったものが多く、これらをベースとして考えることもできるかと思えます。最後に近隣市等の環境基本計画の将来像を参考に掲載しております。

本日、どこまで決めていただくのかということですが、環境市民会議としての将来像案が完成するのが理想ですが、もし決まらなくても、入れたいキーワードや方向性について、市民会議としての統一見解を出していただければ、あとは事務局でまとめさせていただきます。また、本日将来像案が決定した場合は、今後、それを市民会議としての最終案として取り扱います。環境審議会や庁内会議でも今後、将来像について意見が出た場合はそれらと調整しながら、場合によっては加筆修正を加え、計画書に掲載します。将来像についての説明は以上になります。

委員長 ありがとうございます。前回のアンケートの皆さんの回答をここにまとめてあるという形になっています。さまざまな意見をいただき、中には、正反対の意見が出ている場合もあります。例えば、加東市がイメージできるようなキーワード(山田錦やもち麦など)を将来像に含めたほうが良いという意見と、含めないほうが良いという意見の両方があるのですが、このことに関してでも結構です。何か意見はございますか。

委員 山田錦は加東市だけのものではなく、インパクトが弱いと思うのです。また、農業に関心のない人からすると、イメージが湧きません。

委員長 分かりました。いかがでしょうか。私もどちらが良いのかと考えているところなのですが、特産品等の固有名詞を入れなければ、市名を伏せるとどこの将来像なのか分からない気もするので、あえてこういうローカルなキーワードを入れるという考えもありますし、逆に、山田錦、もち麦にしても、それと関係ない人もいるという意見も大変よく分かります。どうしても、将来像という形になると、近隣の町と似てきても、ある程度は仕方がないという感じもします。

委員 将来像は、それに目指して市民の皆が取り組めるものでないといけないと思います。また、前にも意見が出たように、長過ぎると覚えられないので、ある程度、短めのほうが良いということもあります。そうすると、なかなか具体的なことを入れにくいのです。私もそのようなことを思いながら宿題を書いてきたのですが、他市の将来像を見たら、やはりあまり具体的なものは入っていません。このようにならざるを得ないのだろうと思いました。いかがでしょうか。

委員 つくば市の第3次の基本計画の将来像ですが、これはすごく一番、皆に当てはまって、ざっくりとして、いいと思いました。『豊かなつくばの恵みを』とありますが、誰にとっても恵みというのは絶対あるものだと思うのです。それを『未来につなぐ』というのも、すごくよくまとめていると思います。加東市としてはサブタイトルの的なものを含めて考えられているのですか。

事務局 特にサブタイトルを入れなければいけないとか、入れないほうが良いとかということはありません。その辺りも含めてお考えいただいたらと思います。

委員 今、話を聞いていて思いついたのですが、国道が交差していること、自然と人間の生活というものが重なることから、2つのものが「交差する場所」ではないかと思えます。自然や環境、人の生活が「交差する」、「交わる」、「織りなす」など、そのような表現をしたら良いかと思えます。

事務局	『織りなす』は、西脇市さんに入っています。
委員	こいのぼりを生産しているのは、この辺りでは加東市しかありません。ひな人形を作っているのも兵庫県でここしかありません。
委員	小野市や丹波市の「人と自然が共生する」も良い言葉ですが。
委員長	入れたら良いキーワードについて意見はありますか。
委員	「持続可能な」「未来につなぐ」「協働」「パートナーシップ」など、皆で達成するというイメージが湧く言葉を、加東市らしく、アレンジできたらと思いました
事務局	市民会議として集まって、計画から作って取り組んでいこうという姿勢、事業者と市民と市で、皆と一緒に推進していこうという姿勢は加東市の 1 つの特徴ではないかと思います。
委員	まずこれをまとめて理解してもらおう相手は市民ですよ。他市にももちろん見られるでしょうが、他市と似ているからどうという問題でもないですよ。ですから、仮にどこかの市とほとんど一緒であっても、それは加東市として考えたことであって、それはいいのではないのでしょうか。加東市民に理解してもらえることが一番大切だと思います
委員長	加東市もやはり歴史があり、昔からあるものを受け継いで、未来にまたつなげていくというような、そういった感じのほうがいいのではないかと思います。
委員	「人と自然の交差点」というのはどうですか。自然と人々が一緒に暮らしているという表現で、交差点と表現をしました。キーワードに入れておいてください。今の意見を聞かれて、また皆さんで新しい標語みたいなものを考えてきたらどうでしょう。そして投票をしたらどうでしょう。
委員	一つにすると、また問題になるので、三つぐらい選ぶとか、そのぐらいに緩くしておいて、あとは事務局に任せるようにしたらどうでしょうか。
委員	事務局のお話では、多分、時間がないかと思います。ですから、キーワードを事務局にお預けする形でいいと思います。ただ、特産品を入れるか入れないかなど、大きな方向性だけは決めておいた方がいいと思います。
委員	個人的には産品を出すのは反対です。別に JA の標語ではないので。それなら産業面でも何かとか出てくるので。
委員長	やはり具体的な産品などは、無くてもよさそうだという方向性でいきたいと思います。
事務局	何かこのキーワードを追加でというものがあったら今出していただいたほうがいいですが、何かありますか。
委員長	今のうちにどうぞ。
委員	加東市のキャッチフレーズがあると思います。この中のどれかの言葉をキーワードに入れてもいいと思います。ここに一つ書いてありますが、「夢がきらめく元気なまち加東」というのがあります。
事務局	一つ、前回の議論で挙げたか、第 1 次計画のときからの引き続きの言葉として、「環境びと」という言葉を入れるか入れないかという話があったかと思うのですが、皆さんはいかがでしょう。
委員	環境びとというものは、独自性があると思うのですが、これはもともとどこから出てきたのですか。
委員	加東市の造語だということでした。
委員	一つ提案ですが、良いと思うキーワード、将来像案を 3 つほど選んで丸を入れて提出して帰るのはどうでしょう。
委員長	その中で多いのを選んでもらって。
委員	それを引っ付けてもいいですし。
委員	先ほど、話が少し出ていた加東市のキャッチコピーですが、『山よし！技よし！文化よし！』というのが、加東市のキャッチコピーで、そのタイトルがこの『夢がきらめく元気なまち加東』になるのですか。

私の中では『山よし！技よし！文化よし！』が、すごく覚えやすく残りやすいということがあります。ですので、メインは短め、そしてサブタイトルはある程度長さはあってもいいのではないかと思います。まずは覚えてもらうのが先決なのではないかと私は思います。

委員長 サブタイトルがあったほうがよいということですか。

委員 多分、無いと決まらないと思います。

委員長 将来像としては短めにして、補足するようなサブタイトルのようなものも付けると。そういう方向でよろしいでしょうか。

委員 そうすると、皆さんから選んでいただくキーワードも結構入るのではないかと思います。

委員長 そうですね。そういう方向性をお願いします。それでは、加東市の環境の将来像については、この紙を出していただき、事務局でまとめていただくことにしたいと思います。

それでは、環境基本計画の推進体制について、事務局で説明をお願いします。

事務局

それでは、環境基本計画の推進体制についてご説明させていただきます。こちらの議題については、計画推進体制について、皆様へのご報告として、急遽入れさせていただきました。第7回環境市民会議の議事についてというA4一枚物の資料をご覧ください。

第2次計画の推進に当たっては下の方に掲載している三角形の図の通り推進していく予定にしております。推進に当たっては市民・事業者・市の協働をもって行いますが、市民、事業者の中にそれぞれ中心となって推進していく主体を記載しています、市民においては地区の環境推進員および加東エコ隊、事業者においては、かとう環境パートナーシップ協定の締結事業者がそれぞれ中心となり、周りの市民、事業者に活動を波及させていくイメージです。

三角形の真ん中に記載しております「環境まちづくり会議」ですが、こちらは、学識経験者、地域の代表、各種団体、事業者の代表者や市職員などが定期的に参集し、計画推進や重点取組の実施に向けての話し合いをする会議として設置をします。イベントなどの実行委員会のようなイメージです。こちらの会議は加東エコ隊が中心となって参集、開催をしていただく予定になっております。以上が計画の推進体制に関するご説明になります。

委員長 ありがとうございます。事務局より、計画の推進体制について説明していただきましたが、何かご意見はありますか。質問でも結構です。

委員 環境推進員というものはあるのですか。よく知らないのですが。

事務局 環境推進員は、第2次計画の推進に当たって、今後各地区に設置していただく新しい役員です。

委員 推進体制の図を見たときに、例えばかとう環境パートナーシップ協定を結ばれている事業者さんや加東エコ隊などは、図中に記載があるので、何かしなければならぬということがわかるのですが、他の団体や学識経験者として市民会議に参加されている方は、特にここには載っていないと思います。第1次基本計画の推進体制図には、学識経験者や地域団体、各種団体が記載されていて、その方たち、恐らくここにいらっしゃる方たちの所属団体が、かとう環境パートナーシップ倶楽部というものをつくって、推進していきましょうという関係がありました。それがうまく機能していなかったというところがあり、第2次計画ではこの図のとおりとなったのですが、実はこの「環境まちづくり会議」というところに、加東エコ隊が主体となって、声を掛けて集まってもらうというのが、今出席されて

	いる団体さんの代表になるというイメージになっていると思います。なので、この計画ができた後も、関わっていくことになると思うのですが、それについて、何かご意見があれば教えていただきたいと思っています。
委員長	いかがでしょうか。何か意見がありますでしょうか。
	実は少し私もこの図だけではよく分からないというところがあって、この三角形の点線はどういう関係なのかということです。環境まちづくり会議が真ん中にあるのですが。
委員	恐らく、過去の失敗を基に、加東エコ隊とかとう環境パートナーシップ協定だけでは、あまり具体的な活動はできなかったのも、そこに地域の方を引き込むということで、環境推進員が決定したのではないかと思っています。では、この環境まちづくり会議がメインになって活動を進めたり検討したりということになるのでしょうか。
事務局	今、重点取組を皆さんに検討いただいているのですが、実際この取組をするにあたって、誰がどう始めるのかを、環境まちづくり会議で、実行委員会として決めていくイメージです。その中で、重点取組だけではなく、環境基本計画全体の推進の役も担っていくものになっています。
委員	その際の、環境まちづくり会議の旗振りを強いられるのですか。
事務局	環境まちづくり会議の参集主体は、加東エコ隊になっています。加東エコ隊さんに全てお任せするというよりは、市民と加東エコ隊、その他の委員さんの協働で進めていくということになります。
委員	加東エコ隊は、第1次基本計画策定時の市民会議委員の有志で構成されました。その際の想定では、学識経験者や地区代表などがエコ隊に入ると、当時の市職員も含めて思っていたようで、エコ隊がまちづくり会議を開いて基本計画を進めていくと、エコ隊の規約にも記載されています。しかし、実際には、当時の市民会議委員の、応募で入ってきた一般市民数名だけがボランティアとして残ったので、とてもそこまで専門的な会議を開くことができなくて、結局、それほど基本計画を推し進めていける団体にはなっていない状態です。ですので、今後まちづくり会議とエコ隊が進めていくには、相当皆さんの協力がないと難しいと思っています。もちろん、事務局である生活環境課にもバックアップしてもらわないといけないと思っています。
委員	この新しい図を見ると、加東エコ隊のところに環境推進員が引っ付いているので、余計に負荷がかかるのではないかとこのことを気にしています。僕の意見としては、この環境推進員は地区の方だと思うのですが、市に引っ付いている方が動きやすいと思います。
事務局	少し表が分かりにくかったかと思うのですが、これは逆に、加東エコ隊の負荷を下げるためのものです。加東エコ隊も全地区におられるわけではないですし、環境学習などイベントなどは地域ごとに密着して行っていただくのが一番効果的であると思いますので、今回、加東エコ隊と同立の関係として環境推進員をつくりました。ですので、加東エコ隊にくっついているものではありません。運営としては、市から直接各地区の環境推進員に連絡を取らせていただきますので、どちらかという市にくっついているイメージになります。
委員	ありがとうございます。
委員長	他に何か意見や質問ありませんか。
委員	環境推進員には任期があるのですか。
委員長	事務局、どうですか。
事務局	そうですね。任期の設定をしないといけないと思います。
委員	市の委嘱ということであれば委嘱状は出るのですか。
委員	そこは難しいですね。
事務局	イメージとしては保健衛生推進委員さんが各地区にいると思いますが、そういう

	位置付けの方を、地区からお願いしたいということで、委嘱をするとかいうのはありません。
委員長	よろしいですか。
委員	誰かが役を複数しているということもあります。
委員	それは自治会によってで、例えば区長が兼ねるとか副区長が兼ねるとする場合もあるかもしれませんね。
委員	環境まちづくり会議は、各地区の推進員も呼ぶとなると、すごく人数が増えてしまいそうですが、運営できるのでしょうか。20人くらいならいいのですが、あまりに人数が増えてしまうと動きが取れないのではないかと思います。もしくは各分野別に分科会のようにして分かれてしまって人数を減らすかですが。
委員	今の話だと、この環境まちづくり会議は、各地区の環境推進員と、環境パートナーシップ協定締結企業、市の職員、加東エコ隊で会議をするというイメージになるのでしょうか。実際には、各地区の推進員さんは、やはり急に集まって、計画も把握していない状態で、何するのというようになってしまうと思います。あるいは、加東エコ隊が事務局として集める会議というのが、今、ここにいらっしゃる方たちの団体からまた代表として出てきていただいて会議を開いて、計画を推進していくものと思っていたのです。実際に計画を作られた団体の方がイメージも沸きやすいと思いますので。あと、私の思う会議は、市民の集いというイベントもするときに、実行委員として、各種団体の代表で会議をしたと思うのですが、そういう会議なのではないかと思っていたのです。それで、基本計画を進めていくというイメージでした。
委員	私たちはどこにも入っていません。入ってなくてもいいですが。
委員	そうですね。そう思われると思うのですが、やはり、入ってほしいと思っています。本当だったら、加東エコ隊と環境推進員、各種団体で進めていくと思っていたのですが、この体制図だけを見たら、策定した方たちはパッと消えてしまっていて、新たな環境推進員という地区役員と加東エコ隊が、市民の代表として進めていくというようになっています。第1次のときに頑張って進めたくてもなかなか進められなかったという、それがまた起こりそうな気がする体制だと思っていますところがあります。ですので、ぜひ、ここに各種団体の代表を入れたりして、分かりやすい新体制にして、皆さんにまた関わっていただきたいというのが正直なところです。
委員長	ありがとうございます。これは事務局でもう少し考えて、具体的な話はまだこれからということなのですね。
事務局	そうですね。やはり、どういう会にするかということや、誰を集めるのかはこれから決めなければなりません。イメージとしては、規模は、今集まっていたいただいているぐらいでいいと思いますし、誰を呼ぶのかという話は、結局、これから重点取組を今後10年していくわけですが、その重点取組を推進するのに必要な方を呼ぶ、誰でも呼べるというような会議になるかと思います。言われるとおり、動ける規模で、実際に進めていくにあたって、実行委員会として動いていく実働部隊といえますか、そういう意味で参集するところになるかと思います。
委員長	ありがとうございます。よろしいでしょうか。いろいろとご意見があると思うのですが。
委員	すみません、最後に一つよろしいですか。
委員長	はい。
委員	今、委員さんがおっしゃったことはよくわかります。協力はしたい気持ちはありますが、何か話が違うと思う部分もあるのです。というのは、私は、計画を策定するためだけにこの会議に参加するという話で、策定後の計画推進にまで繋がるというような拘束力は無かったと思います。参加する期限も来年3月31日までということになっていました。それなのに、今おっしゃったように、継続的に参

加してくださいというのは、少し無理があると思います。というのは、それぞれの家庭に事情があります。ですから、ここにずっと残りなさいという言われ方をされたくないのです。それだけは念を押して言いたいと思います。あくまでも、アドバイザーとして参加しようとは思いますが、中心になってやってくださいというのは無理です。

事務局 全くそういう意味ではありません。ここに集まっていたいている市民会議委員の皆さんは、計画策定のためだけに集まっています。今おっしゃったのは、計画策定に参加された方や、その他の方も含めて、協力していただける方は、推進に協力していただきたいということですよね。

委員 そうです。

事務局 ただし、それと今の市民会議委員の委嘱は全く別物ですので。

委員長 他にはよろしいでしょうか。それでは、この議論はここまでにしたいと思います。

以 上